



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。



TAC課



雑草イネの基本防除は、抜き取りが重要です。

昨年、各地域で水田に雑草イネの発生した圃場がみられます。
そのまま放置すると3~4年くらいで田んぼが雑草イネだらけになってしまうこともあります。
また、水稻除草剤だけでは防除することが困難で、見つけたら株ごと抜き取るなど圃場からなくす対策が必要です。
雑草イネをまん延させないために、早く発見して防除しましょう。

まずは、雑草イネを知ろう

雑草イネの特徴は？

- ・ 籾・玄米の様子が植えたイネと違う。
- ・ 籾の先端部（ふ先色）が色がついている。 <写真1>
- ・ 芒がある。 <写真2>
- ・ 籾が落ちやすい（脱粒性が高い） など

比較的に見分けやすいものもあります。



<写真1>



<写真2>

雑草イネの出芽時期と発生期間

雑草イネの出芽は、土の中にある種子の深さによって時期が違います。発生期間も種子の深さによって出芽する差があるため約30日間にわたりだらだらと発生してきます。

除草剤による雑草イネ防除のポイント

- ① 初期除草剤エリジャン乳剤（成分プレチラクロールを含む）

除草剤を2~3回散布します。

- ② 初期剤の散布は早めに行います。

- ③ 除草剤散布後7~10日を目安に除草剤を散布します。

雑草イネが1葉期を過ぎると効果がありません。

雑草イネの出芽始めまでに散布することが大切です。

雑草イネを田んぼからなくすために

雑草イネ防除の基本は、抜き取ることです。

種類によっては、籾が落ちやすい雑草イネもあるので抜きとるときは

圃場に籾を落とさないように注意してください。

穂を刈り取ってもそのあとの遅れ穂が発生するので、株ごと取り除くのが有効です。

詳しくは、農研機構<雑草イネまん延防止マニュアル>を参考にしてください。

